



202012-1

地域ブランド「和泉木綿」×Lin Sieii の水墨画

和泉木綿をキャンバスに、みずみずしく広がる、Lin Sieii の生命の賛歌

台湾出身の水墨画作家 Lin Sieii さんが、泉州の地域ブランド「和泉木綿」とコラボレーションした手ぬぐい「生命之果」がこのほど完成しました。2020年12月19日からオンラインショップと小宇宙食堂（神戸市須磨区）で販売が始まりました。



写真1 「和泉木綿×Lin Sieii」手ぬぐい 生命之果

今回のコラボレーションを提案した大江山特許商標事務所の弁理士 岡恵が、和泉木綿製造元の平山繊維株式会社（堺市）を訪ね、代表取締役である平山康夫さん、和泉木綿の会の代表 平山貴夫さん、そして水墨画作家の Lin Sieii さんに今回の取組についてお話を伺ってきました。

#### ■「和泉木綿」とは 1)2)3)4)



図1 和泉木綿のロゴ

泉州は日本最大の綿織物産業の地です。その発祥は、600余年前の室町時代に、この地で綿の栽培を行ったのが起源とされています。江戸時代に入ると、この綿の実を手紡・手織した木綿が堺の石津川の清流で漂白（和晒）され、「和泉木綿」として全国に名をはせました。しかし明治期に入り、輸入綿花税が撤廃されると、泉州の綿作は衰退してしまい、泉州産の綿を用いた「和泉木綿」は、明治時代後半には姿を消し、幻の地場産品となってしまいました。

そんな地場産品を復活させようと、地元の綿織物業者が立ち上がり、平成8年（1996年）には「和泉木綿の会」が設立されました。『まず、「和泉木綿」を定義するところから始まった』と同会の代表を務める平山貴夫さん。「大阪人は、流行に乗るが伝統文化を大切にしない、だから伝統文化は育たない。」という東京の取引先の言葉

に奮起したという平山貴夫さん。原綿は輸入に頼らざるを得ない中、「泉州産の綿織物」を地域ブランド化する取り組みが始まりました。

地域団体商標制度が始まった平成 18 年（2006 年）、泉州織物工業協同組合は「泉州で製織された綿織物」を指定商品として「和泉木綿」を商標登録しました（登録第 5004525 号）。平成 24 年（2012 年）には、「和泉木綿のロゴ」も商標登録され（登録第 5486482 号、図 1）、「和泉木綿」の名は、平成の世に復活を遂げたのです。現在、和泉木綿の産地の各メーカーは、医療用織物を始め、工業資材用織物、衛生材料織物など広範囲にわたる数多くの品種を製織しています。品種ごとに異なる、高度な生産管理・品質管理を行うことで、上質な国産綿製品を送り出しています。

#### ■水墨画作家 Lin Sieii さん

台湾出身の Lin Sieii さん（総合アート修士）は、国立台湾芸術大学卒業後、10 年前に交換留学生として来日されました。伝統的な水墨画の技法に、モダンなポップさが加わった独特の作風にはファンも多く、料理活動家でもある Lin Sieii さんのお店「小宇宙食堂」には、水墨画の原画がそこかしこに飾られています。「with コロナの時代、絵画と物語、台湾の食養生料理と食文化、これらを両面から発信して、お客様に心身の健康を届けたい」と Lin Sieii さん。

#### ■注染本染で再現される水墨画

今年で創業 101 年目を迎える平山繊維株式会社は、小巾白木綿「和泉木綿」の素材に、注染本染（ちゅうせんほんぞめ・大阪府伝統工芸指定）の染技法を駆使した製品（歌舞伎・落語・舞踏などの伝統芸能に不可欠な手拭・浴衣などの文化的製品他）を企画、製造販売しています。京都の大手呉服商社が主要取引先の同社は、小巾（反物の一般的な巾）業界では国内トップの高品質を誇ります。

注染とは、布の上に染料を注いで着色する多色染めの技法で、染料が布を通過するので布地の表裏ともに染まり、色あせしにくいことが特徴です<sup>5)</sup>。

「一枚の手ぬぐいを完成させるには、最低 3 人の職人が関わっている[①糊置き（板場：いたば）、②注染（壺人：つぼんど）、③水洗（浜方：はまかた）]」、と代表取締役の平山康夫さん。Lin Sieii さんの水墨画を再現するために用いられた染料は、黒、グレー、朱赤の 3 色です。型紙（伊勢型紙）を複数枚使い分ける技法もあるそうですが、水墨画特有のにじみ、筆運びを再現するため、一枚の型紙のみを用いて注染本染が行われました。注がれた染料が、その時々には織りなす濃淡を生地の上に表現する、壺人の一瞬の技です。このようにして和泉木綿の上に Sieii Lin さんの息遣いまでが感じられる、手ぬぐい「生命之果」が作られたのです。

上質な和泉木綿は、すべてを受け止めるキャンバスとしての可能性があると感じま

す。完成した手ぬぐい「生命之果」を見て、それは確信に変わりました。

#### ■地域ブランドとアートの融合

地域ブランドが継続的に発展してゆくためには、伝統の中にも新鮮さを失わない仕掛けや取組が求められます。その意味において、今回の「和泉木綿×Lin Sieii」のコラボレーションは、地域ブランドとアートを融合させた、付加価値戦略の一例といえるでしょう。「和泉木綿×Lin Sieii」のコラボ手ぬぐい第1弾の「生命之果」は、海外展開も計画されています。続編の制作も確定しており、ますますこれからが楽しみです。

(文：岡 恵、写真撮影：アハマともみ)



写真2 次回作の打合せ風景

左：平山繊維株式会社 代表取締役社長 平山 康夫さん  
右：台湾出身の水墨画家・料理活動家 Lin Sieii さん



写真3 Lin Sieii さんの、のびやかなタッチの現代的な水墨画の原画 動物、植物、人間などをモチーフに万物の命の賛歌ともいふべき、世界がひろがる



写真4 インタビュー風景

左より和泉木綿の会代表 平山貴夫さん、  
平山繊維(株)平山康夫さん、岡、Lin Sieii さん



写真5・6

綿繰り機で、綿花から種を選別する体験を行う Lin Sieii さん





写真 7~10 綿打ち～紡糸

平山貴夫さんによる綿打ち弓を用いた、綿打ちの実演。綿繰り機で圧縮された綿が、弦をはじくとふわふわになる。綿をひねりつつ、糸車で紡糸を行う。



写真 11 記念写真 左から Lin Sicii さん、平山康夫さん、平山貴夫さん。手ぬぐい「生命之果」とともに

【平山繊維株式会社】

代表取締役 平山康夫

所在地 〒590-0813 大阪府堺市堺区神石市之町16番16号

お問合せ 電話 072-261-9425 URL <http://izumimomen.com/>

【Lin Sieii】

料理活動家・水墨画家 台湾家庭料理教室「小宇宙食堂」主宰。

所在地 〒654-0054 兵庫県神戸市須磨区須磨本町1-1-3

お問合せ 電話 080-5781-8805 URL <http://shouchu-shokudo.com/>

【大江山特許商標事務所】

所長弁理士 岡 恵

所在地 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通4丁目1-14 三宮スカイビル7F

お問合せ 電話 050-5358-4585 URL <https://o-ip.pro/>

<参考文献>

1. 平山繊維(株)ホームページ 和泉木綿の歴史 <http://izumimomen.com/history/>  
(2020年12月20日アクセス)
2. 和泉木綿の会ホームページ 和泉木綿の歴史 <http://izumimomennokai.com/history/>  
(2020年12月20日アクセス)
3. 平山繊維(株)パンフレット 「和泉木綿」
4. 泉州織物工業協同組合ホームページ 和泉木綿 [http://senshu-textile.jp/izumi\\_cotton/](http://senshu-textile.jp/izumi_cotton/) (2020年12月20日アクセス)
5. 井上敏、義永忠一、野尻亘：「共同研究:近代産業遺産の調査研究 南大阪における地場産業の展開--泉州繊維産業を中心にして」桃山学院大学総合研究所紀要 30(1), 21-42, 2004-07